

平成28年度 一般社団法人 日本義肢装具士協会 研修委員会 西日本支部セミナーのお知らせ

「地域包括ケアシステムを支える地域リハビリテーションについて」

主催 一般社団法人 日本義肢装具士協会
研修委員会 西日本支部

共催 一般社団法人 日本義肢協会近畿支部

後援 一般社団法人 日本義肢協会中四国支部

協力 臯志会(神戸医療福祉専門学校三田校 OB 会)

日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。このため、厚生労働省においては、2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的にて、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。それを受けて地域ごとに地域包括ケアシステムの構築は始まっているが、義肢装具士が参画しているケースは稀です。一方で地域において「装具難民」という言葉が一部で言われているように、医療から在宅への装具利用者の継続的なフォロー体制が十分ではない現状があります。

専門職が介入することで顕在化するこの問題に対して、実際に行われている会社間連携を示すと共に、在宅でのキーマンとなる介護支援専門員の理解により地域包括ケアシステムへの参画が可能であると考えます。そこで、本セミナーでは地域包括ケアシステムにおける義肢装具士の専門職としての役割を確認し、地域での義肢装具サービスの拡充を進めることを目的とします。

記

- 到達目標： ①地域包括ケアシステムについて各地域での構築が求められており、その概要が理解できる。
②地域包括ケアシステムの中で、構築前に義肢装具士としての職域確保の必要性が理解できる。
③地域に戻った義肢・装具の利用者の問題点を理解することで、地域包括ケアシステム下で義肢装具士の必要性と職域確保が可能になることが理解できる。
④地域への参画には職種連携の必要性があることが理解出来、義肢装具の在宅での問題は顕在化されているとはいえないので、義肢装具士の積極的なアプローチが必要であることを理解できる。

内 容： 「地域包括ケアシステムを支える地域リハビリテーションについて」

兵庫県立リハビリテーションセンター・顧問 澤村誠志先生 (Dr)

『装具ノート』導入の目的と義肢装具士間での連携のあり方について」

(株) 近畿義肢製作所 井上和紀先生 (PO)

「企業の枠を超えた義肢装具士の連帯事例と問題点について」

川村義肢 (株) 生方悠里先生 (PO)

「ケアマネージャーから見た地域での義肢装具士に求められること」

ケアプランセンター まいペーすプラス 勢喜賢一郎先生 (CM)

日 時： 平成28年11月27日(日)

会 場： 神戸医療福祉専門学校三田校(兵庫県三田市福島501-85)

定 員： 50名

参加費： 正会員・購読会員5,000円、学生会員2,000円、非会員10,000円

締 切 り： 平成28年10月21日

以上

参加ご希望の方は必要事項（会員非会員の別、会員番号、氏名、勤務先、連絡先住所、電話番号、FAX番号）をご記入の上、FAX または E-mail にて下記申込受付先までお送りください。

※FAX でのお申込みの場合、「日本義肢装具士協会 研修セミナーFAX 申込書」をご使用ください。

【 申込み受付および問い合わせ先 】

一般社団法人 日本義肢装具士協会 西日本支部事務局
神戸医療福祉専門学校三田校 義肢装具士科内

担当 : 佐熊重広

FAX : **079-563-1294**

E-mail : sakuma@kmw.ac.jp